



# パートナーシップ・プロファイリングレポート

CliftonStrengths 34資質分析に基づく個人&パートナーシップ総合プロファイリング

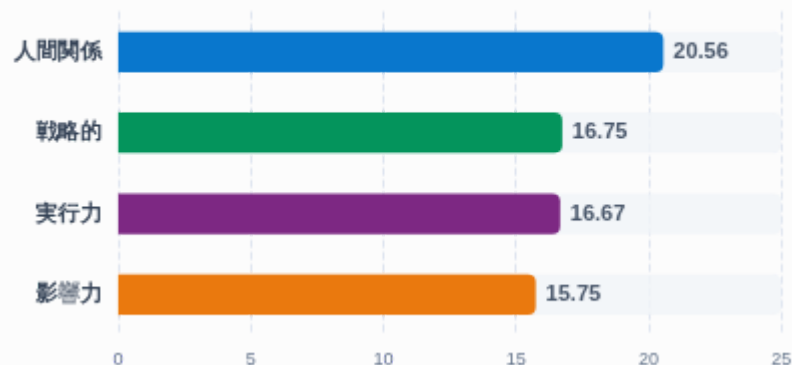
Partner A × Partner B



● 人間関係構築力   ● 影響力   ● 実行力   ● 戦略的思考力

©2025 株式会社ハート・ラボ・ジャパン HeArt Lab. Japan Inc.

領域別 平均スコア



## 分析ロジック

- 35-順位ポイント法: 各資質に「35-順位」のスコアを付与(1位=34点)。
- 領域別集計: 4つの領域ごとにスコアを合計。
- 平均スコア: 合計スコアを各領域の資質数で割り、領域ごとの「強さ」を数値化しています。

## 分析からの考察

TOP10に各領域が分散しているように見えますが、数値化すると「人間関係構築力」が20.56ptと突出して高く、Aさんの強みの土台となっていることが明確です。

次いで「戦略的思考力」と「実行力」が16pt台後半でほぼ並んでおり、思考と行動のバランスが取れています。

一方で、1位に最上志向を持ちながらも「影響力」の平均スコアは相対的に低く、言葉で引っ張るよりも関係性や質でリードするスタイルが裏付けられています。

## 34資質順位一覧

● 人間関係構築力 ● 影響力 ● 実行力 ● 戦略的思考力

1 最上志向	18 共感性
2 調和性	19 自己確信
3 学習欲	20 信念
4 アレンジ	21 親密性
5 適応性	22 未来志向
6 自我	23 運命思考
7 内省	24 包含
8 収集心	25 競争性
9 責任感	26 着想
10 達成欲	27 活発性
11 成長促進	28 規律性
12 ポジティブ	29 社交性
13 公平性	30 戦略性
14 個別化	31 目標志向
15 コミュニケーション	32 指令性
16 慎重さ	33 原点思考
17 分析思考	34 回復志向

# Partner A - TOP10と全体像 (Holistic View)

## TOP 10

1 最上志向

2 調和性

3 学習欲

4 アレンジ

5 適応性

6 自我

7 内省

8 収集心

9 責任感

10 達成欲

## 全体像の捉え方

Aさんの資質構成は、「柔軟な調整力」と「内なるプロ意識」の二層構造で成り立っています。

表面的には、上位の「調和性」「適応性」「アレンジ」が働き、どのような変化や相手に対しても波風を立てず、柔軟に対応するしなやかさを持っています。一見すると、サポート役に徹する穏やかな人物に見えるでしょう。

しかし、その奥底には1位「最上志向」、6位「自我」、9位「責任感」、10位「達成欲」という、「質の高い仕事を完遂し、認められたい」という強力な自我と向上心が隠されています。

「穏やかだが、仕事の基準は極めて高い」。このギャップこそがAさんの全体像であり、周囲との摩擦を避けながらも、静かに、しかし確実に成果の質を高めていくスタイルが特徴です。

# 📖 Partner A - TOP10から読み解く「強み」のストーリー

## ✓ 質の高い合意形成を目指す

単に争いを避けて妥協するのではなく、関わる全員が納得し、より生産的な状態になるような「質の高い平和」を求めます。「現状をより良くしたい」という欲求と「合意を得たい」という欲求が結びつき、洗練された解決策を模索する思考パターンを持っています。

(最上志向 × 調和性)

## ✓ 「今」にあるリソースでの即応

遠い未来の計画に固執するのではなく、「今、ここ」にあるヒト・モノ・情報を最大限に活用して、目の前の事態を乗り切ろうとします。手持ちのカード（収集したもの）を瞬時に切って対応する、現場対応力に優れた行動パターンです。

(適応性 × 収集心)

## ✓ 流れに逆らわず受け入れる

予期せぬトラブルや急な変更が起きても、感情的に抵抗することなく「それもまた良し」と現状をあるがままに受容します。心の平穏を保ちたい欲求が強いため、状況に合わせて自分をカメレオンのように変化させ、その場に馴染ませる行動をとります。

(調和性 × 適応性)

## ✓ 信頼に応えるプロ意識

「自分が引き受けたからには、恥ずかしい仕事はできない」という強い基準を持っています。他者から「あなたのおかげだ」と認められたい欲求と、約束を完璧に果たしたい欲求が結びつき、質の高い成果を生み出す原動力となっています。

(自我 × 責任感 × 最上志向)

## ✓ 再構成のために学ぶ

新しい知識や情報を貪欲に吸収しますが、それは単なる知識の蓄積にとどまりません。学んだことを、現場の状況に合わせてパズルのように組み合わせ、最も効率的な形にアレンジして活用しようとする思考が常に働いています。

(学習欲 × アレンジ)

## ✓ 情報を蓄積し、熟成させる

日々入ってくる膨大な情報を「いつか役に立つかもしれない」と収集し、自分の中に蓄えていきます。集めた材料をすぐには外に出さず、一人静かに反芻し、納得いくまで考え抜くことで、自分なりの解釈へと昇華させようとする思考癖があります。

(内省 × 収集心)

## ✓ 動的なマルチタスク処理

一つのことだけに集中するよりも、複数のタスクを同時に抱え、状況の変化に合わせて優先順位を瞬時に組み替えながら進めるプロセスを好みます。「物事を整理・配置したい」欲求と「完了させたい」欲求が連動し、ジャグリングのようにタスクを捌いていきます。

(アレンジ × 適応性 × 達成欲)



## 👍 Partner A - OKポイント（輝く環境）

### ✓ 向上心が共有される場

優秀なメンバーや質の高いツールに囲まれ、現状維持ではなく「より良くすること」が歓迎される環境。高い基準を目指して学び続けるプロセスそのものが、根源的な成長欲求を満たします。

(最上志向 × 学習欲)

### ✓ 変化への柔軟性が評価される

決まった計画を厳守することよりも、状況の変化に合わせて臨機応変に対応することが歓迎される環境。その場の判断で動きを変えられる余白があるとき、水を得た魚のように動けます。

(適応性 × アレンジ)

### ✓ 心理的安全性が保たれた役割分担

人間関係の摩擦がなく、お互いの領分を尊重し合っている穏やかな環境。自分の責任範囲が明確であり、かつ平和な空気が保たれていると、安心してパフォーマンスを発揮できます。

(調和性 × 責任感)

### ✓ 「個」として指名される

その他大勢の一人としてではなく、あなた自身の能力や姿勢を見込まれて役割を任されること。「あなただからお願いしたい」という期待を受けると、それに応えようとするスイッチが強く入ります。

(自我 × 最上志向 × 責任感)

### ✓ 知的好奇心を刺激するリソース

業務に必要な情報だけでなく、新しい知識やトレンドに自由にアクセスできる環境。気になったことをすぐに調べられ、自分のデータベース（収集心）を肥やしていく時間に充実感を覚えます。

(学習欲 × 収集心)

### ✓ 思考に沈潜できる時間

誰にも邪魔されず、静かに情報を整理したり深く考えたりする時間と空間が確保されていること。集めた情報を自分の中で納得できるまで咀嚼するプロセスが守られている必要があります。

(内省 × 収集心)

### ✓ 裁量権のある段取り

ゴールは示されつつも、そこに至るプロセスやリソースの配置は自分で決められる環境。状況に合わせてタスクをパズルのように組み立て、効率的なルートを自分で描けることにやりがいを感じます。

(アレンジ × 責任感)

## ⚠ Partner A - NGポイント（ストレス環境）

### ✓ 質の低い仕事への妥協

「適当でいいから」と、自分が納得できない低品質な状態での提出を強いられること。自分の名前で質の低い仕事を出すことは、自身のアイデンティティとプライドを傷つけられるのと同義です。

(最上志向 × 自我)

### ✓ 計画至上主義による拘束

状況が変わっているにも関わらず、当初の計画通りに進めることを絶対視される空気。柔軟な修正（適応）が許されず、責任だけを負わされる状況には、強い違和感と窮屈さを覚えます。

(適応性 × 責任感)

### ✓ 感情的な対立と不協和音

怒号が飛び交ったり、派閥争いがあったりと、ギスギスした空気が漂う場所。その場にいるだけで神経が張り詰め、状況を最適化（アレンジ）しようとする思考回路が停止してしまいます。

(調和性 × アレンジ)

### ✓ 貢献に対する無反応

責任を持ってやり遂げたことに対して、何の反応も評価もないこと。黙々とこなすことはできますが、自分の存在や成果が「当たり前」として無視されると、プロとしての誇りが傷つきます。

(自我 × 達成欲)

### ✓ 成長のない単調なルーチン

新しい発見や工夫の余地がなく、決められた同じ作業を延々と繰り返すこと。知的好奇心と向上心が刺激されない時間は、精神的なエネルギーが枯渇していく感覚に陥ります。

(学習欲 × 最上志向 × 達成欲)

### ✓ 材料不足での即断即決

判断に必要な情報や材料を十分に集めきれない段階で、結論だけを急かされること。手元に納得できるだけの材料が揃っておらず、深く検討する時間もないままアウトプットを求められることに、強い不安を感じます。

(内省 × 収集心 × 責任感)

### ✓ 硬直的で非効率なルール

明らかに無駄が多いとわかっている手順や、時代遅れのやり方を強制され、改善することが許されない環境。もっと良くできる道筋が見えているだけに、それを封じられることに強いストレスを感じます。

(アレンジ × 最上志向)

## 1. 業務遂行・タスク管理：「動的なパズル」を愉しむための戦術

### 1 「プレイリスト型」 タスク管理の導入

Aさんの「アレンジ」と「適応性」は、固定されたスケジュールを嫌います。予定通りに進めることよりも、その時々状況や自分のエネルギーレベルに合わせて、最適なタスクを選び取ることに快感を感じる脳の構造だからです。ガチガチの計画は、予期せぬ割り込みが入った瞬間にストレスとなり、パフォーマンスを低下させます。

#### ◎ 具体的アクション

- タスクを「時間」で縛らず、「今日やるべき曲目（タスク群）」としてリストアップしてください。
- 「午前中はこれ」と決めつけず、その瞬間の状況や気分に合わせて、DJのように次やることを選曲していくスタイルをとってください。
- 状況が変わるたびに優先順位を組み替えることこそが、あなたの脳にとって最高の体操であり、最も生産性が高まる状態です。

### 2 脳を休ませる 「完了の儀式」

「達成欲」と「責任感」のコンボを持つあなたは、タスクが終わらないことに強い不快感を覚えます。「学習欲」と「収集心」も相まって、仕事に明確な終わりがなくなり、際限なく働き続けて燃え尽きるリスクがあります。

#### ◎ 具体的アクション

- 退勤時や一日の終わりに、儀式として「今日の完了」を宣言してください。
- 「今日完了させたこと」を物理的に消し込み、「これだけの成果を出した」と視覚的に確認します。
- 声に出して「本日の業務、完了！」と言い、脳のスイッチを強制的にオフにして、責任感の呪縛から自分を解放する時間を作ってください。

### 3 巻き込みこそが 責任感の高度な発露

「責任感」が強いと、全て自分でやろうとしてパンクします。しかし、本当の責任とは「自分が全てをやること」ではなく、「成果を出すこと」です。Aさんの「アレンジ」は、リソース（人、時間、情報）を最適配置する能力です。

#### ◎ 具体的アクション

- タスクを受けたら、まず「これを誰に任せるか」「誰と組めば成果が最大化するか」を考える習慣をつけてください。
- 自分の役割を「全てをやる人」ではなく、「最適なチームを編成するプロデューサー」と再定義してください。
- 人を巻き込むことは責任放棄ではなく、責任を果たすための最も賢い手段であると認識してください。

## 2. 知的生産：「思考の深さ」を武器にするための戦術

4

### 熟成期間を 戦略的に設ける

「内省」は即答を苦手とします。あなたの脳は、情報を一度インプットし、無意識下で既存のデータ（収集心）と照合し、組み合わせる（アレンジ）プロセスを経て、初めて「本質的な答え」を出力します。この潜伏期間なしに答えを出すことは、あなたの最大の武器である洞察力を捨てることと同義です。

#### ◎ 具体的アクション

- 重要な意思決定やアイデア出しの場面では、必ず「持ち帰り」を許可してもらってください。
- 「素晴らしい視点なので、一度じっくり考えてから回答させてください。明日まで時間をいただけますか？」というキラーフレーズを常備してください。
- 一晩寝かせることで、あなたの脳は勝手に情報を整理し、翌朝には驚くほどクリアな解決策を提示してくれます。

5

### アウトプット前提の インプット

「学習欲」と「収集心」は強力なインプットエンジンですが、放っておくと「知って満足」で終わる危険があります。「最上志向」は成果の質を求めますが、インプット過多で消化不良になると、逆に行動が止まってしまいます。

#### ◎ 具体的アクション

- 「誰かに教えるつもり」または「業務プロセスを改善するつもり」で情報を集めてください。
- 学んだことをただノートに取るのではなく、「今のプロジェクトにどう適用できるか？（アレンジ）」という視点で要約してください。
- インプットした知識を即座にパズルのピースとして組み込む習慣をつけることで、単なる物知りではなく「知恵のある実務家」としての評価が確立します。

### 6 品質過剰を防ぐ 「完了」の定義

「最上志向」は常に最高を求め、「達成欲」は完了を求めます。この二つが葛藤すると、「完璧になるまで終わらせられない」という無限ループに陥り、プロジェクトが停滞するリスクがあります。「アレンジ」の柔軟性を活かし、状況に合わせて「完了」の基準を可変させることが、生産性を最大化する鍵です。

#### ◎ 具体的アクション

- 着手する前に、そのタスクの合格ラインを意図的に設定してください（例：「たたき台なら50点」「提出用なら90点」）。
- 「完璧」を目指すのではなく、「次の工程に進める状態」を目指すよう意識を切り替えてください。
- 時間制限を設け、その時間内でできる最高のアウトプットを出すことをゲームのように楽しんでください（達成欲×アレンジ）。

## 3. 人間関係：「洗練された調和」を創る戦術

### 7 対立を高次元で解決する

あなたの「調和性」は、単なる事なかれ主義ではありません。「最上志向」と組み合わせることで、「妥協による平和」ではなく「全員が満足する最高レベルの解決策」を探求する力になります。対立を恐れて蓋をするのではなく、対立こそが「より良い第三の案」を生み出すチャンスだと捉え直してください。

#### ◎ 具体的アクション

- 意見が割れたときこそ、あなたの出番です。「A案とB案、それぞれの最も優れた点はどこか？」を問いかけ、両方の良いところ取りをした「C案」を提案してください。
- 感情的な対立が生じた際は、論点（Facts）と感情（Feelings）を分けて整理し、場をクールダウンさせる調整役（ファシリテーター）を買って出てください。

### 8 評価される責任を引き受ける

「自我」は認められたいという欲求ですが、「責任感」と結びつくことで、「誰もやりたがらない重責を果たしてこそ、真の賞賛に値する」というプロ意識に昇華されます。あなたは、目立つだけのパフォーマンスではなく、結果に対する全責任を負う覚悟を持ったとき、最も輝き、周囲からの信頼と尊敬（そして求めている評価）を勝ち取ることができます。

#### ◎ 具体的アクション

- プロジェクトの成否を握る重要な役割や、困難な課題に対して、自ら手を挙げてオーナーシップを持ってください。
- 完了した仕事に対しては、謙遜しすぎず、自分の貢献とチームの成果を堂々と報告してください。適切なアピールは、あなたの「自我」を健全に満たし、次の活力になります。

## 9 Noを上手く使うことが最大の調和を生む

「調和性」が高いと、波風を立てないために頼みごとを引き受けがちです。しかし、無理をして引き受けてクオリティが下がることこそ、あなたの「最上志向」と「責任感」にとって最大のストレスであり、結果的に周囲との調和も乱します。

### ◎ 具体的アクション

- 断ることは「拒絶」ではなく、「質の高い仕事をするための誠実な選択」であると心得てください。
- 「今は手一杯で、期待されるクオリティが出せないなのでお引き受けできません」という断り方は、プロフェッショナルとしての信頼を高めます。
- あなたのリソースを守ることは、チーム全体の成果を守ることと同義です。





## Partner A - 具体的アクション・アドバイス（キャリア・メンタルヘルス）

キャリア・メンタルヘルス

### 4. 持続可能な卓越性のために

#### 10 「何でも屋」からの脱却

あなたは「アレンジ」「適応性」「責任感」の組み合わせにより、どんな急な依頼でも、どんな無茶振りでも、何とかして形にしてしまう能力があります。これは素晴らしい才能ですが、同時に「都合の良い便利屋」として消費される最大のリスクでもあります。

##### ◎ 具体的アクション

- 「頼まれたからやる」のではなく、「自分の卓越性（最上志向）を発揮できるからやる」という基準を持ってください。
- 「私がやることで、クオリティが劇的に上がるか？」を自問し、Yesなら引き受け、Noなら（誰でもできる仕事なら）他の人に任せる勇氣を持つことが、あなたのキャリアを守ります。

#### 11 未完成を受け入れる勇氣

「最上志向」と「責任感」は、常に120点を目指そうとします。しかし、すべてのタスクで満点を取ろうとすると、心身が持ちません。特に「内省」を持つあなたは、一度悩み始めると深みにハマり、抜け出せなくなることがあります。

##### ◎ 具体的アクション

- 意識的に「80点でリリースする勇氣」を持ってください。「今はこれがベスト」と割り切り、フィードバックをもらってから修正する（適応性）プロセスを取り入れましょう。
- 「完璧主義」は時として「行動しないための言い訳」になります。「走りながら考える」ことが得意なはずのあなたの強みを、完璧主義で殺さないようにしてください。

### 8 自分自身との 「戦略的会議」を定期開催する

Aさんの「内省」は、静かな環境でこそ真価を発揮します。日々の喧騒の中で考え続けると脳が疲弊します。「一人合宿」や「カフェでの思考タイム」をスケジュールに組み込み、強制的に「自分と対話する時間」を確保してください。

#### ◎ 具体的アクション

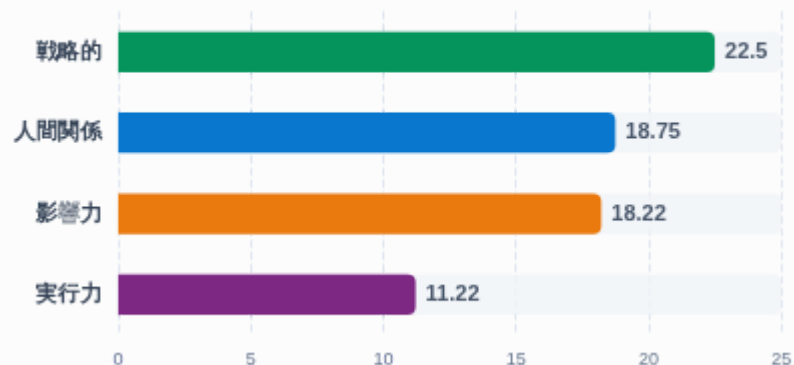
- 週に一度、1時間は「何も生産しない思考だけの時間」を手帳にブロックしてください。
- その時間はスマホをオフにし、ノートとペンだけを持って、自分の内面や長期的なビジョンと向き合ってください。
- これがAさんの精神的な安定と、戦略的な深さを保つための生命線となります。

### 結び

Aさんの「最上志向」は、常に「より良い未来」を目指す素晴らしいエネルギーです。しかし、時に自分自身に対して厳しくなりすぎることもあります。「調和性」で周囲を気遣い、「責任感」で約束を守るあなたは、既に十分に素晴らしい存在です。時折立ち止まり、「今のままでも十分OK」と自分に許可を出してください。その心の余裕が、あなたの才能をさらに輝かせ、周囲の人々を幸せにする源泉となるでしょう。

# Partner B - 4つの領域バランス分析と34資質

領域別 平均スコア



## 分析ロジック

- 35-順位ポイント法: 各資質に「35-順位」のスコアを付与(1位=34点)。
- 領域別集計: 4つの領域ごとにスコアを合計。
- 平均スコア: 合計スコアを各領域の資質数で割り、領域ごとの「強さ」を数値化しています。

## 分析からの考察

最上志向（影響力）を筆頭に、ビジョンを描く戦略と人を巻き込む影響力で最大化を目指すリーダーシップ特性が表れています。

数値で見ると「**戦略的思考力**」が22.50ptと圧倒的に高く、次いで「**人間関係構築力**」18.75pt、「**影響力**」18.22ptと続きます。

一方で「**実行力**」は11.22ptと低めであり、自らが手を動かすよりも、構想を練り（戦略）、人を動かして（影響・人間関係）成果を出すスタイルが明確です。

## 34資質順位一覧（Partner B）

人間関係構築力	影響力	実行力	戦略的思考力
1 最上志向	18 自我		
2 ポジティブ	19 信念		
3 着想	20 責任感		
4 学習欲	21 社交性		
5 個別化	22 原点思考		
6 収集心	23 指令性		
7 コミュニケーション	24 成長促進		
8 運命思考	25 目標志向		
9 アレンジ	26 共感性		
10 戦略性	27 回復志向		
11 未来志向	28 包含		
12 自己確信	29 分析思考		
13 活発性	30 規律性		
14 親密性	31 調和性		
15 内省	32 競争性		
16 適応性	33 慎重さ		
17 達成欲	34 公平性		

## Partner B - TOP10と全体像 (Holistic View)

### TOP 10

1 最上志向

2 ポジティブ

3 着想

4 学習欲

5 個別化

6 収集心

7 コミュニケーション

8 運命思考

9 アレンジ

10 戦略性

### 全体像の捉え方

Bさんの資質構成を一言で表すと、「可能性を信じて、みんなの未来に『火をつける』仕掛け人」です。

1位「最上志向」と2位「ポジティブ」の結合は、物事や人の「良い面」だけを見て、それを最大化しようとする強力なエネルギーを生み出します。さらに3位「着想」、7位「コミュニケーション」が加わることで、未来の可能性を魅力的な言葉で語り、周囲をワクワクさせる影響力を発揮します。

一方で、戦略的思考力の資質（着想、学習欲、収集心、戦略性）も豊富に持っているため、単なる楽観主義者ではなく、豊富な情報とアイディアに基づいたビジョンを描くことができます。

Bさんが近くにいるだけで、チームは「なんとかなる」「もっとやれる」という空気感に包まれるでしょう。まさに組織のエンジンであり、帆に風を送る存在です。

## Partner B - TOP10から読み解く「強み」のストーリー

### ✓ 可能性を最大化するエネルギー

「もっと良くなるはずだ」と信じ、現状に満足せず常に上を目指します。物事の肯定的な側面（ポジティブ）に目を向け、それを最高レベル（最上志向）まで引き上げようとする熱意が、周囲を巻き込んでいきます。

(最上志向 × ポジティブ)

### ✓ 情報を集め、循環させる

面白い情報や役に立つツールを見つけると収集せずにはいられません（収集心）。集めたリソースを自分だけで独占せず、必要な人に伝えたり共有したりする（コミュニケーション）ことで、情報のハブとして機能します。

(収集心 × コミュニケーション)

### ✓ アイディアを着火させる

独創的なアイディア（着想）が次々と湧き出し、それを言葉にして伝える（コミュニケーション）ことで、周囲に刺激を与えます。論理的な説明よりも、直感的な閃きと魅力的なストーリーテリングで人を惹きつけます。

(着想 × コミュニケーション)

### ✓ 見えない繋がりを信じる

「全ての出来事には意味がある」と捉え、人のご縁や偶然の重なりを大切にします（運命思考）。一人ひとりの人生背景（個別化）を尊重し、長期的で精神的なつながりを築こうとします。

(運命思考 × 個別化)

### ✓ 独自の個性をパズルのように

一人ひとりのユニークな特徴を見抜く力（個別化）があります。それぞれの強みを理解し、状況に合わせて最適な配置や組み合わせを考える（アレンジ）ことで、多様な個性が活きるチームを作ります。

(個別化 × アレンジ)

### ✓ 楽観的なビジョンを描く

困難な状況でも「なんとかなる」という明るい見通し（ポジティブ）を持ち、閉塞感を打破するような代替案（戦略性）を提示します。リスクを恐れずに挑戦する姿勢が、チームに前進する勇気を与えます。

(ポジティブ × 戦略性)

### ✓ 学びを戦略に変える

好奇心旺盛に新しいことを学び（学習欲）、それをゴール達成のためのシナリオ（戦略性）に組み込みます。単なる知識の蓄積ではなく、目的のために情報を活用し、最短ルートで成果を出そうとする思考パターンです。

(学習欲 × 戦略性)

## 👍 Partner B - OKポイント（輝く環境）

### ✓ 自由な発想が称賛される場

前例のないアイデアや、一見突拍子もないような提案をしたときに、「それ面白いね!」とポジティブな反応が得られる環境。自分の直感や着想が歓迎されると、水を得た魚のように活き活きとします。

(着想 × ポジティブ)

### ✓ 言葉で人を動かせるコミュニケーションの場

自分の言葉でストーリーを語り、相手の感情を動かして巻き込んでいくことが評価される環境。プレゼンテーションや対話を通じて、ビジョンを共有し、共感を生み出す瞬間に輝きます。

(コミュニケーション × ポジティブ)

### ✓ 素早い意思決定ができるスピード感

会議で長時間議論するよりも、「まずやってみよう」というスピード感が重視される環境。直感的に「これだ!」と思った瞬間に動き出せる体制があると、持ち前の戦略的な判断力を最大限に発揮できます。

(戦略性 × 着想)

### ✓ 運命的なつながりを感じられるチーム

「このメンバーが集まったことには意味がある」とお互いに信じ合える、精神的な結びつきの強いチーム。表面的な関係ではなく、深い縁や使命感を共有できる仲間と共に働けると、強い安心感とモチベーションを得られます。

(運命思考 × 個別化)

### ✓ 多様な情報にアクセスできる知的刺激

一つの分野だけでなく、様々なジャンルの情報や新しい知識に触れられる環境。好奇心の赴くままに学習し、点と点を繋ぎ合わせて新しい価値を生み出すプロセスを楽しめます。

(学習欲 × 収集心)

### ✓ 最高を目指す向上心のある文化

平均点で満足せず、「もっと良くできるはずだ」という向上心を持って洗練させていく文化。互いの強みを認め合い、さらに高め合うような建設的なフィードバックが飛び交う場所でこそ、真価を発揮します。

(最上志向 × 学習欲)

### ✓ 「あなたならではの」が求められる個別対応

マニュアル通りの対応ではなく、相手に合わせたカスタマイズや、ユニークなアプローチが許容される環境。一人ひとりの違いを見抜き、それぞれに最適な対応を考えることに喜びを感じます。

(個別化 × アレンジ)

## ⚠ Partner B - NGポイント（ストレス環境）

### ✓ 欠点指摘と平均化の圧力

「ここがダメだ」「もっと普通にできないか」と、短所や弱点を修正することばかり求められる環境。尖った才能を削られ、平均的で無難な存在になることを強要されると、輝きを失います。

(最上志向 × 個別化)

### ✓ 一律管理と画一的な対応

「みんな同じ」ルールで縛られ、個々の事情や特性を無視した対応をされること。一人ひとりのユニークさを大切にしたいという価値観を踏みにじられることに、強い憤りを感じます。

(個別化 × 最上志向)

### ✓ 否定から始まる議論

アイデアを出した瞬間に「でもそれは無理」「リスクがある」と批判されること。熱意を持って提案したものを、頭から冷や水を浴びせるように否定されると、エネルギーが一瞬で凍りつきます。

(ポジティブ × 着想)

### ✓ 不透明な意思決定プロセス

なぜその結論に至ったのか、背景や意図が見えないまま指示が降りてくること。全体像や戦略が見えない中で動くことを強いられると、勘が働かず、不安と不信感が募ります。

(戦略性 × 収集心)

### ✓ マニュアル通りの単純作業

決められた手順を一言一句変わらず繰り返すことを強いられ、工夫やアレンジの余地が一切ない業務。新しい刺激や変化がない単調な時間は、精神的な窒息感を覚えます。

(着想 × 学習欲 × アレンジ)

### ✓ 「偶然」を許さない厳格さ

すべての物事に明確な理由と計画を求められ、偶然の出会いや直感的な展開を「無駄」と切り捨てられる環境。セレンディピティ（素敵な偶然）を楽しむ余地がないと、息苦しさを感じます。

(運命思考 × 着想)

### ✓ 孤独で閉鎖的な空間

誰とも話さず、一人で黙々と作業することを強いられる環境。感情やアイデアを共有する相手がおらず、反応（リアクション）が得られない状態が続くと、モチベーションが枯渇します。

(コミュニケーション × ポジティブ)

## 1. 業務遂行・タスク管理：「プロデューサーの視点」で回す戦術

### 1 「自分」という タレントを売り込む

あなたは「ルーチンワークをこなす作業員」として生きると窒息します。「最上志向」と「自我」は、自分が特別でありたい、自分の仕事が称賛されたいと強く願っているからです。単にタスクを処理するのではなく、一つ一つの仕事を「自分の作品」として捉え、どうすればそれが最高に輝くかを考える「プロデューサー」の視点を持ってください。

#### ◎ 具体的アクション

- 誰でもできる仕事は極力手放し（または自動化し）、あなたにしかできない「付加価値の高い仕事」にリソースを集中させてください。
- 「これをやれば誰が喜ぶか？」「どうすればもっと注目されるか？」を常に意識し、自分の成果を適切にアピールする場を戦略的に作ってください。
- 謙遜は不要です。あなたの才能は、見られて初めて価値が出ます。

### 2 「着想」のための 余白を作る

あなたの最大の武器である「着想」は、忙殺されている時には決して降りてきません。リラックスしている時、雑談している時、あるいはぼーっとしている時にこそ、世界を変えるようなアイデアが閃きます。「サボっている」のではなく、「アイデアをダウンロードしている」時間が必要です。

#### ◎ 具体的アクション

- スケジュールに空白の時間を意図的にブロックし、「クリエイティブ・タイム」として死守してください。
- この時間は、メール返信も会議もしないでください。ただ散歩したり、本屋に行ったり、面白い人と話したりすることに使ってください。
- それが結果として、10時間分の残業よりも高い価値を生み出します。



### 3 「飽き」を才能として活用する (マルチ・プロジェクト戦略)

「着想」「学習欲」「収集心」を持つBさんにとって、同じことの繰り返しは苦痛です。しかし、それは「飽きっぽい」のではなく、「新しい可能性への感度が高い」という才能の裏返しです。無理に一つのことに集中しようとせず、複数のプロジェクトを並行して進めることで、脳の回転を止めずに成果を出し続けることができます。

#### ◎ 具体的アクション

- 意図的に3つ以上のプロジェクトを同時進行させてください。一つに飽きたら別のに取り組むことで、常に新鮮な気持ちで仕事に向き合えます。
- 「飽きた」と感じたら、それは「初期フェーズ（立ち上げ）」の完了サインです。維持管理フェーズは得意な人に任せ、次の「新規案件」を探しに行ってください。
- ルーチンワークは「いかに短時間で終わらせるか」というゲームにするか、あなたのアイデアを形にしてくれるパートナーに委譲してください。

## 2. 知的生産：「直感」を「戦略」に変換する戦術

### 4 「直感」の根拠を 後付けで翻訳する

あなたの「戦略性」は、ゴールまでの最短ルートを一瞬で見抜きますが、そのプロセスは無意識下で行われるため、周囲には「飛躍」して見えます。「なんとなくこっち」では、論理重視の人（特にPartner A）を説得できず、せっかくの正解が却下されるリスクがあります。

#### ◎ 具体的アクション

- 結論が出た直後に、「なぜそう感じたのか？」を自問し、論理の架け橋を後付けで作る癖をつけてください。
- 「Aという予兆があるからBが起きる」といった因果関係を言葉にすることで、あなたの直感は「再現性のある戦略」へと昇華されます。
- どうしても言葉にできない時は、「まずはスモールスタートで検証させて」と提案し、実績で正しさを証明するのが近道です。

### 5 アイディアの 「選別フィルター」

「着想」と「ポジティブ」を持つあなたは、新しい可能性に次々と気づきますが、すべてに手を出すとリソースが分散し、どれも中途半端になる「器用貧乏」の罠があります。すべてのアイディアが、今すぐ実行すべき「戦略」とは限りません。

#### ◎ 具体的アクション

- 思いついたアイディアは、即座に行動に移さず、一旦「アイディア貯蔵庫（メモ）」にプールしてください。
- 1週間後に見返し、それでも「ワクワクする」「勝算がある」と感じるものだけをピックアップします。
- この「冷却期間」を設けることで、一時の感情に流されず、真にインパクトのある施策だけにエネルギーを集中できます。

### 6 インプットの偏りを 「戦略的」に補正する

「着想」と「個別化」を持つBさんは、興味のある分野の情報は大量に持っていますが、興味のない分野（数字、事務手続き、細かい規則など）の情報は意図的にシャットアウトする傾向があります。しかし、「戦略性」を機能させるには、盤面全体の情報が必要です。

#### ◎ 具体的アクション

- 苦手な分野の情報収集は、それが得意な人（例えば「収集心」や「分析思考」を持つ人）にアウトソーシングしてください。
- 「この決定をするために、私が見落としている情報はないか？」と周囲に問いかける習慣を持ってください。
- 自分の直感を裏付けるための客観的なデータや事実を、意識的に集める時間を設けてください。

## 3. 人間関係・コミュニケーション：「言葉」で人を動かす戦術

### 7 「比喩」と「物語」で語る

「着想」と「コミュニケーション」を持つあなたの言葉は、論理的な説明よりも、鮮やかなイメージとして相手に届いた時に最大の威力を発揮します。データや数字の羅列ではなく、「例えば～のようなもの」という比喩や、ワクワクするような未来のストーリーを語ることで、周囲を強力に巻き込むことができます。

#### ◎ 具体的アクション

- プレゼンや説明では、必ず「たとえ話」や「ビジュアルな言葉」を一つ以上入れてください。
- 「こうすれば効率が上がる」という機能的価値ではなく、「こうなったら最高に楽しくない？」という情緒的価値（ポジティブ）を伝えてください。
- あなたの言葉は、人々の心に火をつける「マッチ」です。ロジックで説得するのではなく、パッションで感染させてください。

### 8 「個」に合わせたオーダーメイド対応

「個別化」を持つあなたは、画一的なマニュアル対応を嫌い、相手に合わせた柔軟な対応ができる達人です。「みんなと同じ」扱いは、相手にとってもあなたにとっても不満の種です。相手の強み、好み、状況に合わせて、コミュニケーションのスタイルを変幻自在に変えていくことが、信頼関係構築の鍵です。

#### ◎ 具体的アクション

- 相手のタイプ（結論重視か、情緒重視か、慎重派か）を見極め、話し方や提案の仕方を変えてください。あなたはそれが自然にできる人です。
- 「あの人にはこの言い方、この人にはあの言い方」と使い分けることは、八方美人ではなく「高度な配慮」です。自信を持って使い分けてください。
- チームメンバーそれぞれの「得意なこと」「やりたいこと」を把握し、適材適所の役割をお願いすることで、全員が幸せになれる環境を

### 9 「誰とやるか」ですべてが決まる

「個別化」を持つBさんは、抽象的な「人々」ではなく、具体的な「あの人」に興味があります。「社交性」は、その興味をきっかけに広範囲なネットワークを築きます。Bさんの場合、「何をやるか」よりも「誰とやるか」がモチベーションの源泉です。

#### ◎ 具体的アクション

- プロジェクトを始める時は、タスクの内容よりも先に「誰とチームを組むか」をデザインしてください。
- 「この人と一緒に働きたい」と思える人を巻き込むことで、あなたの「着想」や「戦略性」は最高レベルで機能します。
- 逆に「誰でもいい」という状況や、相性の悪い人と組まされると、パフォーマンスが著しく低下することを自覚し、環境を選んでください。

## 4. キャリア・メンタルヘルス：「未来を信じ続ける」ために

### 10 「未来の記憶」を定期的に更新する

「着想」と「未来志向」を持つあなたにとって、「ワクワクする未来」が見えなくなることは、精神的な窒息を意味します。日々の業務に忙殺され、未来を語る時間がなくなると、あなたは急速にエネルギーを失い、無気力になります。あなたにとって未来を妄想することは、現実逃避ではなく、生きるための酸素補給です。

#### ◎ 具体的アクション

- 定期的に（例えば月に一度）、「未来妄想デー」を設けてください。
- 制限なく「もし何でもできるとしたら？」と考え、ノートに書き出したり、コラージュを作ったりして、未来のビジョンを視覚化します。
- この時間は「生産性」を完全に無視し、ただ純粹に自分の心が踊るイメージに浸ってください。それが、明日からの現実を生きるための最強の燃料になります。

### 11 「自分の言葉」が通じるコミュニティを持つ

あなたの直感的な言葉やユニークな着眼点は、保守的な環境では「変わっている」「理解不能」と処理されがちです。自分の言葉が通じない場所に長くいると、あなたは「自分が間違っているのではないかと」自信を喪失し、輝きを失います。「個別化」を持つあなたは、誰にでも合わせられますが、合わせすぎると自分が消えてしまいます。

#### ◎ 具体的アクション

- 職場以外に、あなたの感性を面白がってくれるサードプレイス（趣味のコミュニティ、勉強会など）を持ってください。
- そこで思いっきりアイデアを話し、「それ面白いね！」と承認される経験を定期的に積んでください。
- 自分の感性が「間違っていない」と確認できる安全基地があることで、職場でのアウェイな状況にも耐えられる精神的なタフさが生まれます。

### 8 自分自身と 「契約」を結ぶ

Bさんの「未来志向」は、単なる夢ではなく、未来を「予約」する力です。しかし、周囲の理解が追いつかないと、そのビジョンを「ただの妄想」として封印してしまうことがあります。それはあなたの最大の才能を殺すことです。

#### ◎ 具体的アクション

- 自分の描く未来を、自分自身への「正式な契約書」として書き出してください。誰に見せる必要もありません。
- 「いつまでに」「どうなっているか」を詳細に記述し、署名してください。
- その契約書を定期的に読み返すことで、周囲の雑音に惑わされず、自分の北極星を見失わずに済みます。

### 12 直感を信じて 「流れ」に乗る

迷った時、損得で考えると失敗します。「ワクワクするか?」「流れが来ているか?」で選んでください。

#### ◎ 具体的アクション

- 「運命思考」を持つあなたには、必要なタイミングで必要な出会いやチャンスが訪れます。
- 計画通りにいかなくても焦らないでください。「こっちの道の方が面白いことになるよ」という大きな流れからのサインだと捉え直し、そのハプニングを楽しむ余裕を持つこと。その先に、想像以上の「最高の結果」が待っています。

#### 結び

Bさん、あなたは「未来の希望を灯す聖火ランナー」です。

あなたが笑っていれば、周りも笑います。あなたが「できる」と言えば、みんなもその気になります。

細かい実務や管理は、それが得意な人に任せてしまいましょう。あなたは顔を上げ、遠くを見つめ、ワクワクする未来を指差し続けてください。それこそが、リーダーとしてのあなたの最大の仕事なのです。



## Partner A

1   最上志向	共通	18   共感性
2   調和性		19   自己確信
3   学習欲	共通	20   信念
4   アレンジ	共通	21   親密性
5   適応性		22   未来志向
6   自我		23   運命思考
7   内省		24   包含
8   収集心	共通	25   競争性
9   責任感		26   着想
10   達成欲		27   活発性
11   成長促進		28   規律性
12   ポジティブ		29   社交性
13   公平性		30   戦略性
14   個別化		31   目標志向
15   コミュニケーション		32   指令性
16   慎重さ		33   原点思考
17   分析思考		34   回復志向

## Partner B

1   最上志向	共通	18   自我
2   ポジティブ		19   信念
3   着想		20   責任感
4   学習欲	共通	21   社交性
5   個別化		22   原点思考
6   収集心	共通	23   指令性
7   コミュニケーション		24   成長促進
8   運命思考		25   目標志向
9   アレンジ	共通	26   共感性
10   戦略性		27   回復志向
11   未来志向		28   包含
12   自己確信		29   分析思考
13   活発性		30   規律性
14   親密性		31   調和性
15   内省		32   競争性
16   適応性		33   慎重さ
17   達成欲		34   公平性

### 共通言語は「クオリティ（質）」と「好奇心」

お二人とも、1位が「最上志向」という奇跡的な組み合わせです。互いに「中途半端なものは作りたくない」「より良い未来にしたい」という強烈な価値観を共有しており、尊敬し合える関係です。また「学習欲」「収集心」「アレンジ」も共通しており、新しい情報を学び、それを組み合わせて何かを良くしていくプロセスを共に楽しめず。

### 役割分担：「錨（Anchor）」と「帆（Sail）」

似ているようで、エンジンの掛かり方が対照的です。**Aさん（錨）**は、「内省」「責任感」「達成欲」を持ち、船が流されないように深く考え、確実にタスクを完遂し、現実的な航路（段取り）を守る役割が得意です。**Bさん（帆）**は、「ポジティブ」「着想」「コミュニケーション」を持ち、風を受けて船を前に進め、新しい行き先（未来）を語る役割が得意です。Bさんが広げ、Aさんが整える。Bさんが語り、Aさんが深める。この補完関係が機能したとき、二人は最強のチームになります。



# 自然とうまくいく「共鳴ポイント」(Synergy)

パートナーシップ

## ✓ 「もっと良くしたい」でエンドレスに盛り上がる 最強の相性

どちらも現状維持が大嫌いです。「どうすればもっと良くなるか?」「次はどう仕掛けるか?」という未来志向の話題なら、何時間でも語り合えます。互いの向上心を「意識高い」と冷笑することなく、さらに高い基準を目指して鼓舞し合えるため、一緒にいるだけで成長スピードが劇的に加速します。

Key Strengths: 🔄 共通: 最上志向 × 学習欲

## ✓ 知的好奇心の交換会が止まらない

互いに「収集心」と「学習欲」があるため、面白いニュース、役に立つツール、新しい知識を持ち寄る時間が大好きです。Bさんが広範囲から集めてきたユニークなネタを、Aさんが深く掘り下げて構造化・分析する、という知的なキャッチボールが自然と成立します。二人で本屋や展示会に行くと、最高のデート（または視察）になるでしょう。

Key Strengths: 🔄 共通: 収集心 × 学習欲

## ✓ 変化を恐れず、むしろ楽しむ

Aさんは「適応性」、Bさんは「着想」「ポジティブ」を持っており、どちらも変化に対して柔軟です。急な予定変更やトラブルが起きても、パニックにならず「じゃあこうしよう」「面白くなってきた」と前向きに捉え、その場でパズルを組み直す（アレンジ）ことができます。二人なら、ピンチさえもエンターテインメントに変えられます。

Key Strengths: 🔗 A適応性 × B着想 × 共通アレンジ

# ⚠ 無意識にすれ違う「衝突ポイント」(Friction)

パートナーシップ



「思いつき」 vs 「タスク」

認識ギャップ

Bさん（着想×コミュニケーション）は、ただ楽しくてアイデアを口に出しているだけですが、責任感の強いAさん（責任感×達成欲）は、それを「**実行しなければならないタスク（命令）**」として受け取ってしまいます。結果、Bさんの無邪気な一言で、AさんのToDoリストがパンクし、「そんなに言われてもできない！」とAさんが爆発。Bさんは「ただ言ってみただけなのに…」と困惑するパターンです。



「即答」 vs 「熟考」

スピード差

Bさん（戦略性×着想）は直感で答えが出るのが早く、会話のテンポも速いです。一方、Aさん（内省×慎重さ）は、一度持ち帰って深く考えたいタイプです。Bさんが「で、どうする？今決めて」と矢継ぎ早に迫ると、Aさんは**思考停止して黙り込みます**。その沈黙をBさんは「やる気がない」「無視された」と誤解しがちです。



「拡散」 vs 「完了」

エネルギー差

Bさんは次々と新しいことを始めたい（着想・活発性）ですが、Aさんは一つのことをきっちり終わらせたい（達成欲・責任感）です。Aさんが一生懸命片付けている横で、Bさんがまた新しい風呂敷を広げ始めると、Aさんは**「私の努力が無駄にされた」**と感じて疲弊します。完了の喜びを共有できないすれ違いです。

## Bさんの「風」を乗り越なす



### ① Bさんの言葉は「BGM」として聞く（真に受けない技術）

Bさんの口から出るアイデアの9割は、その場の思いつきであり、実行命令ではありません。「それ面白いね！」と相槌は打ちつつ、メモは取らないでください。「本当にやるべきことなら、Bさんはもう一度言ってくるはずだ」と割り切り、聞き流すスキルを持つことが、あなたの責任感（と胃）を守るために必須です。



### ② 「考え中」の看板を出す

Bさんのマシンガントークに圧倒されて黙り込んでしまうと、Bさんは不安になります。沈黙する前に「その件、すごく大事なから一人でじっくり考えたい。明日まで待って」と伝えてください。Bさんは「無視」されたのではなく「熟考」してくれているとわかれば、喜んで待ちます。



### ③ 褒め言葉のシャワーを浴びせる

Bさんのエネルギー源は「称賛」と「反応」です。何かしてくれたら、あなたの基準（最上志向）では当たり前なことでも、大げさなくらい「すごい！」「助かった！」と伝えてください。その一言で、Bさんはあなたの最強の味方になります。

## 📌 Aさんの「錨」を信頼する

### ① 「アイデア」と「お願い」をタグ付けする



Aさんに話しかける時、必ず枕詞（タグ）をつけてください。「これは単なる妄想話なんだけど聞いてくれる？（実行しなくていい）」なのか、「これは本気でお願いしたいタスクなんだけど（実行してほしい）」なのか。これを明確に言わないと、Aさんはあなたの全ての言葉を「絶対遵守の契約書」として受け取り、勝手にプレッシャーを感じて潰れてしまいます。Aさんを守るための必須マナーです。

### ② 「沈黙」を急かさない



何か質問した時、Aさんが黙っても、それはフリーズしているのではなく、脳内で高度な検索とシミュレーション（内省）が高速回転している最中です。そこで「ねえ聞いている？」と畳み掛けるのは、ダウンロード中のPCの電源を強制的に切るようなものです。Aさんが口を開くまで、笑顔で待ってください。その先には、あなたが思いつかないような「深く、本質的な答え」が必ず待っています。

### ③ 感謝は「見えないプロセス」に対して伝える



Aさんは「結果」だけでなく、「トラブルを未然に防いだ」「段取りを綺麗に組んだ」という「水面下の努力」に誇りを持っています。「何事もなく終わったね」ではなく、「Aさんが事前に準備してくれたおかげで完璧だったよ」と、その準備（アレンジ・責任感）を具体的に褒めてください。そうすれば、Aさんは「わかってくれている」と安心し、あなたのために喜んで次の錨を下ろしてくれます。

1



## 「質の定義」を最初に握る

何かを始める時、互いの「最上志向」が暴走しないよう、「今回は60点のスピード優先か、120点のクオリティ優先か」を最初に合意します。これで無駄なすれ違いが消え、同じゴールに向かって走ることができます。

2



## 「発散タイム」と「収束タイム」を分ける

会議では、前半をBさんのための「制限なしのアイデア出しタイム（批判禁止）」、後半をAさんのための「現実的な落とし込みタイム（妄想禁止）」と明確に分けます。 **混ぜる危険です**。時間を区切ることで、互いの強みを最大限に活かします。

3



## 互いの「充電方法」を尊重する

疲れた時、Aさんは「一人になりたい（内省）」、Bさんは「誰かと話したい（コミュニケーション）」となります。Aさんが殻に閉じこもってもBさんは邪魔せず、Bさんが外に遊びに行ってもAさんは止めない。互いの回復方法の違いを許容し合うことが、長く続く秘訣です。

## 商標および免責事項

クリフトンストrengths、ストrengthsfainダーは、ギャラップの登録商標です。

御社が受け取るギャラップ以外の情報は、ギャラップに承認されたものではなく、ギャラップの認可も推薦も受けていません。

クリフトンストrengthsの結果に関する意見、見解、解釈は、株式会社ハート・ラボ・ジャパンだけの考えです。

### 株式会社ハート・ラボ・ジャパン

 <https://heart-lab.jp/>     [info@heart-lab.jp](mailto:info@heart-lab.jp)